

2019年2月1日

JRA報道室

エイシントドロキの出走取消理由について

2019年第1回中京競馬第6日第5競走〔2月3日（日）〕の「エイシントドロキ」（牝3歳・野中賢二厩舎）は、1月29日（火）に口内炎の治療のため規制薬物（フルニキシム）の投与を受けたにもかかわらず出馬投票が行われたことが判明しました。同薬物は競走当日に影響が残るおそれがあることから、同馬は出走取消となりました。

■規制薬物とは

規制薬物は、おもに治療を目的に施用される薬物であり、競馬法に定められた「禁止薬物」のような競走能力への影響は無いものの、馬の福祉および事故防止の観点から、規制薬物の影響下にある馬の出走は禁止されています。